

【代表質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1	<b>14番 東 正 幸（一括質問）</b>			
	1. 令和6年度予算編成における取組について			
	(1)	能登半島地震の発生を踏まえ、防災対策の強化は	能登半島特有の地形による道路網の寸断が大きな問題となった。市内においても、地震発生時、中山間地域で同様の問題が発生することが考えられるが、その場合の対応策を問う。また、市民に対して、地震発生時における津波の情報発信や安全安心の災害に強い街づくり施策の取組について問う。	市長
	(2)	能美市制誕生20周年に向けた取組は	「住んで良かった能美市」と市民力・地域力を生かした胸をはれる事業の展開をどのように描き取り組んでいくのかを問う。	市長
	(3)	北陸新幹線の県内全線開業に伴う取組は	北陸新幹線県内全線開業という千載一遇の機会を活かし、市の知名度の向上と地域ブランドの確立についてどのように取り組んでいくのかを問う。	市長室長
	(4)	環境問題についての取組は	新年度事業ゼロカーボンチャレンジNOMIにおいて、具体的な事業内容の取組と方向性、そして新年度事業における環境問題に対し、どのような対策・対応を考え取り組んでいくのかを問う。	市民生活部長
(5)	デジタル技術の取組は	スマートインクルーシブシティ推進事業の現在の進捗状況と成果を問う。また、新年度の事業内容とその方向性と取組、そして市民に対してどのように理解を求めていくのか、その手法を問う。加えてデジタル技術を活用した行政事務の適正な人員、配置について問う。	市長	

【代表質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	<b>5番 今尾晃司（一括質問）</b>			
	1. 令和6年度当初予算における「こども・子育て政策」の強化について			
	(1)	「こども・子育て政策」の強化について	市制20周年を目前に控えた今、市民へ能美市の将来の姿を示す時期である。令和6年度の当初予算編成において、「こども・子育て政策」をどのように強化しているのか、重要な事業・施策を問う。	市長
	2. 令和6年能登半島地震を教訓とした、災害前提の市政運営について			
	(1)	災害初期の災害対応について	思いがけない災害に混乱しながら行動する災害初期において、極めて重要である災害対策本部の立ち上げと行動、住民の避難誘導と避難所のあり方について、今後の方針を問う。	総務部長
	(2)	災害発生時のホームページによる情報発信について	ホームページは市民にとって重要な情報源である。災害発生時には市民が必要とする情報をよりわかりやすく提供するために、ページ全体を簡易表示に切り替え、重要な情報のみを掲載する「災害時モード」の導入について見解を問う。	市長室長
	(3)	住宅耐震化の促進について	国土交通省が輪島市や珠洲市などで行った現地調査では、比較的古い木造の建物で甚大な被害が見られた一方、建築年代の新しい建物は被害がないか軽い傾向がみられたとしている。本市においては住宅耐震化率の低い地域を把握しているのか、また今後どのように住宅耐震化を促進する考えなのか問う。	土木部長
(4)	災害リスクに備える生活インフラの予防保全について	災害リスクへの備えとして地域防災力の維持・向上を図るためにも、生活インフラの老朽化対策は重要な課題である。今後の長期的な視点で、主要な道路と上下水道の耐用年数に応じた予防保全への予算確保、ならびに能美市において人材不足が指摘されている技術職員の人材確保についての見通しを問う。	総務部長	
(5)	危機管理体制の強化について	自然災害が頻発している近年において、意思決定の迅速化、指揮命令系統の明確化、災害対応の機動力の観点から、本市の危機管理体制の見直しおよび強化について、現時点での考えを問う。	総務部長	

【一般質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1	<b>7番 卯野修三（一問一答）</b>			
	1. 能美スマートインクルーシブシティ推進事業について			
	(1)	実施してきた各事業の経過報告について	令和4年度、令和5年度で実施してきた本事業の進捗状況を問う。	企画振興部長
	(2)	これまで実施してきた事業の今後について	これまで実施してきた事業において、令和6年度以降は、どのように展開していくのか。	企画振興部長
	(3)	令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金について	交付金を活用することで、能美市がかかげる方向性に合致する施策の実施など、本事業の今後の展開について問う。	企画振興部長
	(4)	能美市内のデジタル化に伴う地域通貨の導入について	地域経済循環をふまえ、能美市内のデジタル化に伴う、キャッシュレス決済できるデジタル地域通貨の具体的な内容と開始時期を問う。	市長
	2. 能美市制20周年記念事業について			
	(1)	能美市制20周年事業の進め方について	能美市制20周年記念事業の準備を進めるにあたり、1年を切ったなかでの推進は難しいので、2025年から3年間での実施としてはどうか。そして、準備段階から市民参加型で進めるべきと考えるが、見解を問う。	市長室長
	(2)	案内板の設置について	旧辰口町時代に設置した集落案内板は、県内では稀有でユニークなものであり、市内全域に設置して、市内外の方々へのPRならびに能美市民のふるさと愛醸成として、設置すべきと考えるが、見解を問う。	企画振興部長

【一般質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
2	<b>6番 山下 毅（一問一答）</b>		
	1. 生命をつなぐAEDの活用について		
	(1)	令和5年の救急出動件数及び現場到着までの所要時間について 令和5年の救急出動件数及び119番通報から現場到着までの平均所要時間について、また、令和4年と比較しての状況と、その要因について問う。	消防長
	(2)	AEDの設置状況及び市民への周知について 本市におけるAEDの設置状況及び市民に対して設置場所の情報をこれまでどのように周知してきたのかを問う。	健康福祉部長
	(3)	AEDの使用方法を普及するための講習プログラムの実施について 市民及び市役所職員並びに企業関係者に対して、AEDの正しい使用方法を普及するための講習プログラムが毎年どれだけ実施されているのか、また、実施するにあたっての課題について問う。	消防長
	(4)	AEDの活用と救急体制の連携に関する取組状況及び奏功事例について AEDの活用と救急体制の連携に関する取組状況と市民がAEDを使用したことでの奏功事例について問う。	消防長
(5)	公共施設における屋外AED収納ボックスの整備とコンビニエンスストアへのAED設置協力について 屋外設置が可能なAED収納ボックスを市内公共施設に整備してはどうか。また、市内に点在する年中無休で24時間利用可能なコンビニエンスストアにAED設置の協力を積極的に進めてはどうか、見解を問う。	健康福祉部長	

【一般質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
3	<b>3番 中村純子(一問一答)</b>			
	1. 災害に備えた、安全安心なまちづくり			
	(1)	上水道管の耐震適合性について	能美市の上水道管の総延長とその耐震適合率はどのくらいか。また、このうち「基幹管路」の延長と耐震適合率はどのくらいかを問う。	土木部長
	(2)	上水道管の耐震化計画について	今後の上水道管の耐震適合性について、整備目標をどのように設定し、計画的な整備を進めていくのか問う。	土木部長
	(3)	根上地区の上水道について	根上地区の一部で見られる、砂や赤さびが混じる「赤水」と呼ばれる状況の発生原因と、改善に向けた対策を行う予定はあるのか問う。	土木部長
	(4)	下水道マンホールの耐震化について	重要幹線内のマンホール数と、耐震化工事の実施率はどうか。また、今後どのように耐震化を進めるのか問う。	土木部長
	(5)	「能美市水道事業経営戦略」等の見直しについて	令和6年能登半島地震を受けて、令和5年度に予定されている「能美市水道事業経営戦略」「能美市公共下水道事業経営戦略」の中間見直しについて、どのように対応するのか。	土木部長
(6)	能美市備蓄計画の見直しについて	予定されている「能美市備蓄計画」の見直しについては、令和6年能登半島地震の教訓を充分踏まえた上で行うべきと思うが、見直しの進捗状況と今後の予定を問う。	総務部長	

【一般質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
4	<b>4番 澤田 貞（一問一答）</b>			
	1. 令和6年能登半島地震について			
	(1)	行政と地域住民との危機管理について	この二年間で経験した自然災害での危機管理に関し、行政としての初動体制や災害対策本部会議の在り方、地域住民への対応についての総括を問う。	市長
	(2)	被災者の住まいについて	生活再建のためにも住まいの確保は最優先課題である。石川県賃貸型応急住宅（みなし仮設）の家賃無料制度があるが、個人宅で避難者を受け入れている世帯に対する支援の考えを問う。	副市長
	(3)	建物の安全性について	能美市の耐震改修促進事業の補助金引き上げが示されたが、改修費用の高騰のため、診断後の改修工事に進展しない現状を鑑みたととき、耐震化率上昇と建物の安全強化の見通しを問う。	土木部長
	(4)	治水対策及び地震発生時の上下水道への備えについて	能登の惨状や気候変動の課題もあるが、現状での治水対策と地震発生時の上下水道への備えを問う。	土木部長
	(5)	自主防災組織について	市政20周年の市民力・地域力の結集を以て、災害による被害を予防し、軽減するための活動を担う「自主防災組織」の強化について市の見解を問う。	総務部長
	(6)	地区防災計画について	計画書をつくることが目的ではなく、命を守るためにどう行動するか、皆で合意し訓練しながら徐々に内容を深めていく手順が求められる。各地区での防災計画の認識を高めるための対応を問う。	総務部長
	(7)	防災士取得について	防災士に期待される役割は大きく、74町会・町内会長や市職員の管理職が防災士の資格を取得し、地域の防災力を高める一助とすべきであると考えているが、市の見解を問う。	総務部長
(8)	職員の健康管理について	災害時、管理職は職員の健康面への気配りは当然だが、突出する時間外勤務職員への業務負担の分散や、組織的な対応など、健康管理の徹底方法について問う。	副市長	

【一般質問】

令和6年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
5	<b>2番 荒井昌宏（一問一答）</b>		
	1. 令和6年能登半島地震による避難者の受け入れ状況と今後の支援について		
	(1)	被災者の2次避難所、広域避難所の受け入れ状況について 市内のホテル、旅館等の2次避難所や公共施設の広域避難所の規模や開設期間、受け入れ環境について問う。	市長
	(2)	応急仮設住宅となる賃貸型応急住宅や公営住宅について 奥能登4市町から市内の賃貸型応急住宅及び公営住宅に避難して来られた方は、どれほどおられるのか問う。	土木部長
(3)	能美市に移住を希望する避難者への就職支援について 避難者が能美市に住み続けることを希望する場合、市内で仕事を探すことも想定される。市内には、人手不足により人材を求める企業もあると聞くが、仕事を探している避難者とマッチングするなど、避難者への仕事の支援ができないか、市の見解を問う。	産業交流部長	

【一般質問】

令和6年3月12日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
<b>12番 田中 策次郎（一問一答）</b>			
1. 学校給食について			
(1)	小中学校給食費の完全無償化について	学校給食費の完全無償化に踏み切った「目指す目的と期待される効果」への考えと「学校施設の老朽化対策や教職員の増員」への今後の対応を市長に問う。	市長
(2)	新給食センターの食材発注について	これまで各学校ごとに受注していた市内の商店が「これまで通りに受注が出来るのか」「大量の食材の受注に対応できるのか」「大量の食材を扱える業者に限られるのではないかなど不安に感じている。新給食センター食材発注における、業者や各取扱い量を維持継続すべきと考えるが発注業務計画の概要を問う。	教育委員会 管理局长
2. スケートボード競技者への支援について			
(1)	民間と連携したスケートボード競技者への支援を問う	スケートボードパークは若い世代の集いの場となり、子育て世代の定住の促進や交流人口の拡大にも繋がると考える。民間と連携したスケートボード競技者への支援を問う。	教育委員会 管理局长
6	3. 市内観光施設の支援について		
(1)	北陸応援割が利用可能な市内観光施設の情報発信と市単独補助を問う	北陸応援割が利用可能な市内観光施設を市のホームページやソーシャルメディアで広く発信することで市外の方が情報を見つけやすくすると共に、市民にも訴求し、市民から友人知人・親戚などへの市内観光施設の利用を促すようバックアップできないか。さらに、市内観光施設をより多く利用して頂けるような市単独での追加補助ができないか問う。	産業交流部長
4. 避難訓練について			
(1)	避難所運営学習と公共施設での避難訓練の実施について	実際に避難所となる体育館や公共施設で体験訓練を行い、避難所運営のリーダー学習と、寒い冬・暑い夏や体育館など硬い床での過ごし方、災害時のトイレの使い方、給水や食事のとり方、衛生環境の守り方などを避難体験で学ぶ訓練が必要と考える。避難所運営のリーダー学習と、災害時に避難所となる体育館や公共施設での避難訓練を実施できないか問う。	総務部長



【一般質問】

令和6年3月12日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
7	<b>9番 仙台謙三（一問一答）</b>			
	1. 令和6年能登半島地震について			
	(1)	避難所運営、避難者対応の在り方を問う	避難所運営については模擬演習などの訓練を事前に行うべきであり、指揮系統については部署横断で事前の打ち合わせが必要であるが、マニュアル作成や事前演習を行っていたか。 また、今回の震災対応で何を学び、今後どのように取り組んでいくか、市の見解を問う。	総務部長
	(2)	避難所における避難者への協力を呼びかけよ	混乱を極める現場では、職員だけがその職務を背負う事は必要なく、避難者への協力を呼び掛けることも大切であると考え。 市職員の負担軽減を図るためにも、防災士や地域の代表など現場に居合わせた避難者から有志を募り、避難所運営のサポートを依頼してはどうか。	総務部長
	(3)	地域防災計画及び業務継続計画（BCP）について	災害時の対応における地域防災計画及び業務継続計画（BCP）の実施について、当初の計画通りの業務の遂行が行われたか。 また、この数か月で判明した課題などはあるか。	総務部長
	(4)	液状化対策について	液状化対策においては、でき得る限りの情報をもとに、道路や地域の安全性を確認すべきと考える。 能美市として、どのように不具合を調査し、どのように優先度合いを付け、どのように土壌・地盤改良を行っていくか。	土木部長
(5)	津波避難ビル・タワー、津波避難場所について	令和6年能登半島地震における根上南部保育園の「津波避難タワー」の活用状況について、把握している事柄を示せ。 また、今後、津波避難ビル・タワーの新設や津波避難場所を追加する計画について、市の見解を尋ねる。	総務部長	

【一般質問】

令和6年3月12日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
8	<b>8番 北村周士(一問一答)</b>			
	1. 新年度当初予算と学校教育、教育施設の整備方針について			
	(1)	災害発生時における学校教育施設の開錠方法について	能登半島地震は元日の発生ということもあり、避難所としての学校施設の開錠方法について課題が見られた。今後の改善策とあわせて、学校教育施設へのスマートロックの導入と、その有用性についての考えを問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	辰口中央小学校正門前の整備方針について	辰口中央小学校の正門前は勾配のある坂道で車両一台と歩行者のみの通路が確保されている状況である。当初予算における用地取得と今後の整備の方向性を問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	辰口中央小学校駐車場の拡張を検討せよ	辰口中央小学校では、児童の送迎の際、保護者はましじ広場のほか、物見山陸上競技場を用いているのが現状である。緊急車両の通行がままならない渋滞も発生しているが、その認識はあるか。また今後駐車スペースの拡張を検討してはどうか。	教育委員会 管理局长
	(4)	沖縄県恩納村との教育交流の目指すところは	沖縄県恩納村と教育交流パートナー協定が結ばれた。当初予算における交流事業の具体的内容と、今後の交流における中学生の成長に寄せる期待、能美市の教育として目指すところを問う。	教育長
	2. 北陸DCを見据えた観光施策と今後の展望について			
	(1)	伝統工芸九谷焼の魅力向上策と九谷陶芸村への誘客手法を問う	今秋から始まる北陸DCに向け、能美市でも最も訴求力のある資源のひとつ伝統工芸九谷焼の魅力をどのようにアピールしていく考えか。また、観光誘客として九谷陶芸村でどのような仕掛けを展開していくのか。	産業交流部長
	(2)	企業版ふるさと納税(人材派遣型)の活用により期待される効果を問う	新年度より企業版ふるさと納税(人材派遣型)による活用が見込まれている。専門性のあるスタッフの手腕により、能美市の観光施策が磨かれると期待されるが、具体的にどのような効果を見込んでいるか。	産業交流部長
	(3)	新観光アクションプランについて	昨年度より新観光アクションプランの策定が進んでいる。北陸新幹線県内全線開業はスタート地点であり、最終目標である能美市への移住定住の促進に向けて、これら観光施策がどのような効果を生むと期待するか。新観光アクションプランの策定方針と併せて、市長の考えを問う。	市長

【一般質問】

令和6年3月12日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
<b>15番 近藤啓子（一問一答）</b>			
1. 令和6年能登半島地震について			
(1)	津波警報発表時の初期対応について	地震と津波の報道で、多くの市民が不安と緊張の中で行動した。特に津波に対する心配が大きかったと思うが、市として市民が判断できる情報の提供が必要ではなかったか。初期対応についての見解を聞く。	総務部長
(2)	避難所の在り方について	避難所ではトイレや性暴力、プライバシー保護の問題が大きい。男女共同参画の視点からの災害・復興ガイドラインが出されているが、その視点から避難所の在り方の検討が必要ではないか。また、市内の広範囲に及ぶ災害にも対応できる避難所の確保が必要と考えるが、見解を問う。	総務部長
(3)	地域の個別避難計画について	個別避難計画策定においては、「災害と福祉」の連携から専門家の支援が必要である。同時に地域でもに作り、地域の避難行動サポーターとして登録し、避難訓練にも生かしていくことが重要と考えるが、計画の進め方についての考えを問う。	副市長
(4)	被災者生活再建支援の拡大について	被災者生活再建支援法では、全壊、大規模半壊、中規模半壊の方への支援が基本であり、半壊、準半壊、一部損壊は対象となっていない。半壊に対しては市独自の支援が出されているが、準半壊、一部損壊の方にも対象を拡大し支援すべきでないか。	健康福祉部長
(5)	みなし仮設住宅入居者への支援について	民間アパートや公営住宅に「みなし仮設住宅」として入居された方に対し、気持ちよく生活できるように電化製品や布団などの支給を基本として支援すべきでないか。	総務部長
9	2. 後期高齢者医療保険について		
(1)	保険料の大幅な引き上げとなった要因と影響について	9.4%と大幅な保険料の引き上げであるが、その要因は何か。また、能美市における具体的な影響額はどうか。	健康福祉部長
(2)	保険料軽減への手立てを採るべきでないか	均等割のみの方にも負担は増えている。「高齢者の医療の確保に関する法律」の第102条及び103条に基づき、「後期高齢者医療に要する費用に対し、補助金を交付することができる」、保険料の負担軽減を図るべきでないか。	健康福祉部長
(3)	高齢者の受療権を守るよう意見をあげるべきでないか	高齢者医療費に占める国庫負担率が年々減らされている。高齢者の受療権が脅かされている。命を守る立場から国庫負担率あげるよう国へ意見をあげるべきでないか。	健康福祉部長
3. 能美根上駅について			
(1)	電車とホームの隙間と段差解消について	駅庁舎を含め駅前の活性化を検討するにあたっては、電車とホームの隙間と段差解消も含めて、真にバリアフリーで自由に移動できる対策を明確にすべきと考えるが、市の見解を問う。	土木部長
(2)	人的配置のもと電車の乗り降り支援を検討すべき	旧駅長室の活用として、来訪者の案内や物産販売、荷物預かりと同時に、電車への乗り降りに補助が必要な方への支援対策が取れないか。	企画振興部長